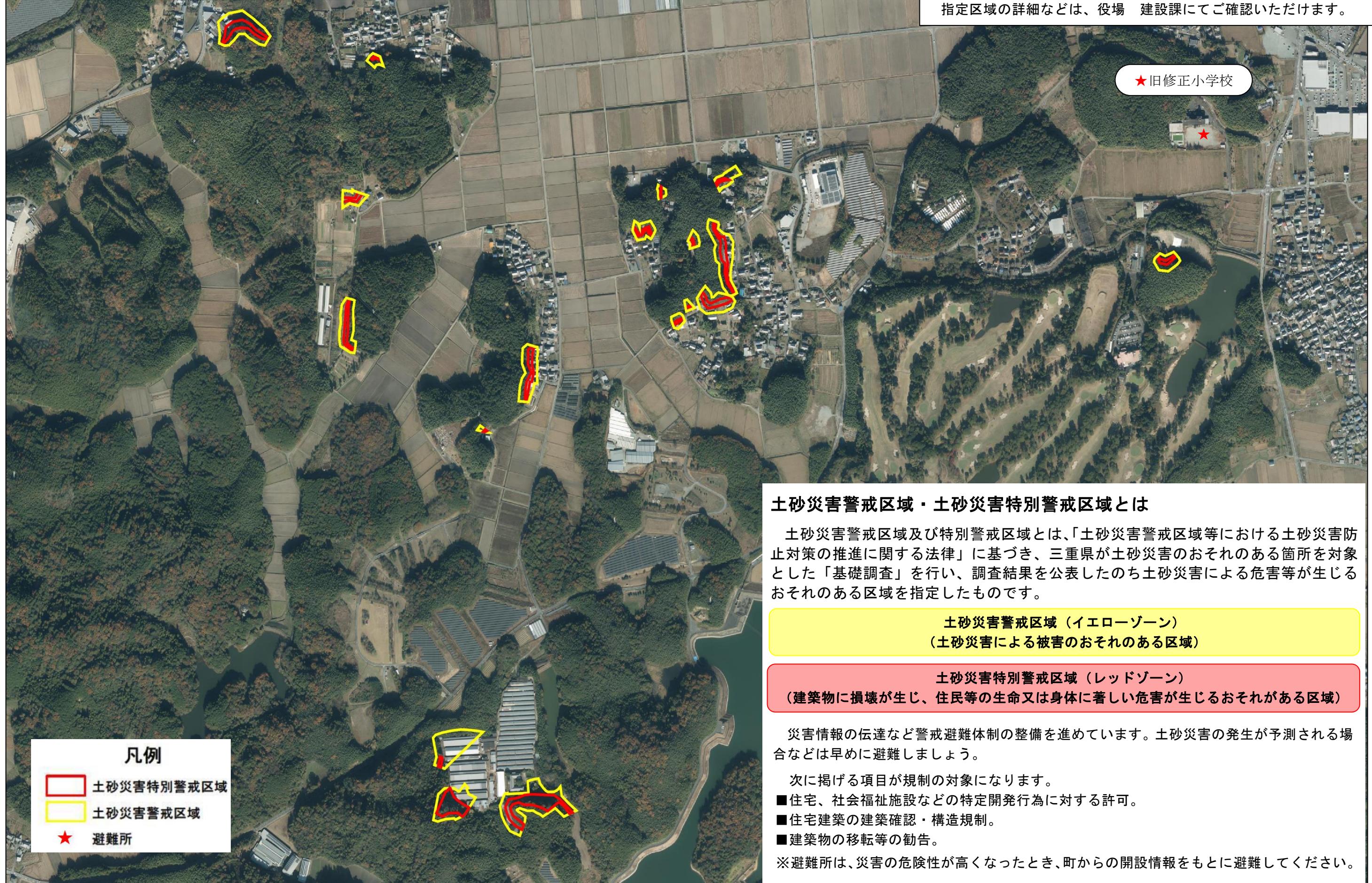


明和町土砂災害ハザードマップ

令和7年4月修正 明和町
防災安全課 Tel.0596-52-7110 建設課 Tel.0596-52-7119

指定区域の詳細などは、役場 建設課にてご確認いただけます。



土砂災害の特徴

土砂災害の種類

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)



地中にしみ込んだ雨水や地震によって地盤が緩み、斜面が急激に崩れ落ちる現象です。

がけの下の家は土砂にうまる危険があり、がけの上の家は崩れ落ちる危険があります。

明和町の指定区域は、全てがこの現象に対する区域です。

土石流



山の斜面や川底の土砂や石などが、長雨や大雨等による水と一緒にになって、谷を一気に流れ下る現象です。

大雨などで山が崩れ、土砂が水とまじって谷を下ることで、谷の出口でおうぎ形に広がります。

地すべり



地下水の影響と重力によって、広い範囲の斜面がゆっくりと動き出す現象です。

災害の特徴

- 局所的に被害が発生
- 主に降雨を起因として発生し、突発的に被害が発生
- 土砂と石礫が高速で移動するため、家屋の破壊を生じ、人的被害が発生しやすい
- 豪雨のたびに同じ箇所で繰り返し起こることは少ない

避難行動に関する特徴

- 降雨と地形、地質状況に起因するため、危険性を判断しにくい
- 目視による確認が比較的困難であるため、危険性を認識しにくい
- 降雨や地形、地質等の複数の要因が影響するため、精度の高い発生予測が困難

住民の意識

- 危険性を認識しにくいため、避難しない

土砂災害から身を守るために

「危険な地域を知ること」

「早めに避難すること」

自宅や学校・職場などが警戒区域や特別警戒区域に指定されているか、市町が指定している避難所はどこか等、あらかじめ確認し、いざという時の避難行動を考えておきましょう。

台風接近時などは、気象情報や市町からの避難所情報に注意し、早めに避難してください。

天候が荒れてからの避難は移動にも危険を伴います。

「土砂災害が起こってから避難しても遅い」という気持ちで、普段から準備しておくことが重要です。



【避難情報】

市町は、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して以下のような避難指示等を発令します。

警戒レベル3

高齢者等避難 ※1

□避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、この段階で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル4

避難指示 ※2

□從来の避難勧告は廃止され、この段階で危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル5

緊急安全確保 ※3

□すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。この段階の発令を待ってはいけません。

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

【土砂災害警戒情報】

土砂災害警戒情報は、大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難指示や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、三重県と津地方気象台が共同で発表しています。

大雨の場合に気象庁が発表する防災気象情報

約1日程度前
大雨の可能性が
高くなる

→

半日～数時間前
大雨が始まる
強さが増す

→

数時間～
1、2時間前
大雨が一層
激しくなる

→

大雨が一層
激しくなる

記録的な大雨
出現

被害の拡大が
懸念される

大雨に関する 気象情報

警報・注意報に先
立ち発表

大雨注意報

警報になる可能
性がある場合はそ
の旨予告

大雨に関する 気象情報

雨の状況や予想を
適宜発表

大雨警報

大雨の期間、予想
雨量、警戒を要す
る事項などを示す

大雨に関する 気象情報

刻一刻と変化する
大雨の状況を発表

記録的短時間 大雨情報

数年に一度の猛烈
な雨が観測された
場合に発表

土砂災害 警戒情報

土砂災害の危険度
がさらに高まった
場合に発表

県と気象庁が共同で発表